

# 4-2

## 回想法の実践

不穏・行動障害へのアプローチとQOLの改善

回想法の実践

不穏・行動障害の軽減

特別養護老人ホーム みどりの郷 福楽園

介護職員 相墨 欽章

介護職員 富岡 紀子

江戸川区臨海町 1-4-4

介護職員 佐々木 紀子

TEL 03-5659-4122

FAX 03-5659-4132

今回の発表の施設  
またはサービスの  
概要 10p

西側に荒川、富士山を遠望でき、南に葛西臨海公園の観覧車が望める環境です。平成14年、4月に定員100床にて開所。併設として、ショートステイ・デイサービスセンター・訪問介護・居宅介護支援事業・地域包括支援センターがあります。

### 〈取り組んだ課題〉

- 私たちは、認知症の不穏・行動障害が日中にただ漫然と過ごしていることが原因でないのかという点に着目した。  
(自傷行為・職員や他の入居者に対する暴力行為・声出し等)
- 双六ゲームのマス目に回想法・学習療法・レクリエーションの要素を取り入れて、独自の働きかけを行なう。

### 〈具体的な取り組み〉

- 不穏・行動障害のある対象者への双六ゲームの実施
- 参加者の観察評価（独自の評価表の作成）
- レクリエーション実施前後の行動変容の調査

### 〈活動の成果と評価〉

- 独自の評価表からは、発語や動作面で穏やかに過ごされており、プラスの数値になった。
- 双六を行なっている時は、不穏や暴力行為は見られなかった。
- 自分が理解していること、分っていることを話すことは、認知症の方にとって自信に繋がった様子であった。
- しかし、双六のレクリエーションを行っていない時は、不穏・行動障害は度々みられ、軽減には至らなかった。

### 〈今後の課題〉

- 当施設において、双六ゲームの成果を発表し、特養の各フロアにおいて回想法委員会を発足することになった。
- 委員会を設置することで不穏・行動障害のある方に対する各ケースや対応方法を共有する。
- 各フロアで定期的に対象者に対する回想法を実施し、様子を記録していく。

### 〈参考資料など〉

- 回想法ハンドブック～ Q&Aによる計画、スキル、効果評価

編集 回想法・ライフレビュー研究会

- 学習療法実践事例集

編集 山崎律実 監修 川島隆太